

第13回はやま湖駅伝 27チームが春の大倉を力走



▲新緑の中 一斉にスタート！



▲タスキを受けてさあ行くぞ！



▲今回優勝したワラガイRC男子

優勝は男女ともワラガイRC(相馬市)
村では飯樋アントラーズと館山RCが好走

第13回スポーツ少年団対抗はやま湖駅伝競走全国大会は、団員の精神・体力面の向上と、団員同士の交流・親睦を目的に、4月29日、大倉はやま湖で県内外から男女合わせて27チームが参加して行われました。

午前10時、号砲と同時に、1区の選手が大倉体育館前を一斉にスタート、6区間計10・34キロに及ぶたたかいの火蓋が切つて落とされました。

選手らは、沿道で見守る監督や保護者、チームメイトからの声援を受けながらはやま湖畔を力走、次の走者へとタスキをリレーしていきました。

結果、ワラガイRC男子(相馬市)が39分48秒でゴール、続いてワラガイRCの女子が女子の部大会新記録となる41分36秒のタイムでゴールし、相馬市勢が男女ともに優勝しました。村スポ少では飯樋アントラーズが男

総合成績

子の部6位、館山ランニングクラブAが女子の部5位に入賞しました。結果は次のとおりです。

男子の部▽1位ワラガイRC男子(相馬市)▽2位槻木陸上男子(宮城県柴田町)▽3位川俣Jrフレンズ(川俣町)▽4位中村第一AC男子(相馬市)▽MAX男子(鹿島町)▽6位飯樋アントラーズ(飯館村)

女子の部▽1位ワラガイRC女子(相馬市)▽2位槻木陸上女子(宮城県柴田町)▽3位中村第一AC女子(相馬市)▽4位中村第一RC女子(相馬市)▽5位館山ランニングクラブA(飯館村)▽6位白石バレーボール(飯館村)

